

月刊 G S I マップニュース

第99号 4 ページ

平成12年12月25日発行

あて先

様

通信



トピックス

■国土地理院政策懇談会を開催

国土地理院は、12月18日、関東地方測量部において、国土地理院政策懇談会を開催しました。

同懇談会は、国土地理院の基本的な政策について、外部からの意見をを得ることを目的として、平成11年6月から開催しているもので、今回が6回目で最終回となります。

懇談会は、科学技術庁防災科学技術研究所の片山恒雄所長を座長に、測量・地図関連分野の専門家や有識者12名からなり、当日は9名が出席しました。

会議では、「21世紀における基本測量のあり方」について、政策懇談会としての考えを、「電子国土」を軸としてとりまとめた報告書案について議論が行われました。

報告書は、今回の議論を踏まえて必要な修正を行った上で公表する予定です。

■地理情報標準推進委員会を開催

国土地理院は、12月13日、グラントヒル市ヶ谷（東京）で、平成12年度第2回地理情報標準推進委員会を開催しました。

同委員会は、国土地理院が平成11年度から13年度に実施する官民共同研究「地理情報標準の運用に関する研究」の内容や結果について審議するもので、伊理正夫中央大学教授を委員長として、18名の有識者で構成されています。

会議では、事務局より国際標準化機構（ISO）の動向、関係省庁や国土地理院が行っている標準に関連する取り組みなどについての報告がありました。また、共同研究のリーダーから、今年度行っている地理情報標準更新の検討状況や地理情報標準に基づく空間データ交換実験および空間データ作成・検証実験の進捗状況についての報告がなされました。

各委員からは、標準の実証実験の具体的内容などについて多くの質問が出たほか、今後、より分かりやすく、使いやすい標準を求める意見など、本研究に対する関心の高さがうかがわれました。

..... 主な記事

新刊情報 — 平成13年2月1日、3月1日
新刊地図案内 2～3

つくば便り — ホームページで「新春スペシャル」を開催 4

.....

■国土地理院機関評価実施委員会を開催

国土地理院は、12月12日、KKRホテル東京で、平成12年度第2回国土地理院機関評価実施委員会を開催しました。

同委員会は、東京理科大学の高木幹雄教授を委員長として、測量・地図作成の専門家7名と有識者3名の計10名からなり、当日は8名が出席しました。

会議では、前回の委員会での議論を基にまとめた報告書原案について、事務局から説明の上、質疑、意見交換を行いました。報告書は、今回の議論を踏まえて修正の上、公表する予定です。

各委員からは、「国土地理院は、我が国の測量や地図作成に関する先端的研究の中核をなすよう努めるべき。」「研究開発には、人の確保が重要。外部からの研究員の受入など、工夫が必要。」「研究のための経費は、他省庁からの経費ばかりでなく、国土地理院の予算の確保に努めるべき。」などの意見が出されました。

■GIS官民推進協議会に出席

12月5日、総理府において、第5回GIS官民推進協議会が開催され、城処国土地理院長が出席しました。

会議では、10月6日の地理情報システム（GIS）関係省庁連絡会議の申し合わせ「今後の地理情報システム（GIS）の整備・普及施策の展開について」の概要説明と、6月の同協議会で取りまとめた主要課題についての取り組み状況が報告されました。

関係省庁連絡会議の申し合わせについては、地理情報の電子化、地理情報の提供、メタデータ整備・公開、クリアリングハウスの整備と連携など、IT革命の推進に必要なGISの具体的な取り組みが説明されました。

また、同協議会の主要課題の取り組み状況については、コアデータ、地図データ品質、クリアリングハウス、技術開発および標準化の各ワーキンググループにおける平成12年度の目標、検討スケジュールおよび検討状況などについて報告がありました。

新刊情報

地図の価格と購入方法

[主な地図の価格]

1万分1地形図(5色)	450
2万5千分1地形図	270
5万分1地形図(4色)	290
20万分1地勢図	320
50万分1地方図(4色)	650
100万分1日本	650
100万分1国際図	890
300万分1日本とその周辺	890
1万分1火山基本図	590

(円：消費税込み)

[購入方法]

国土地理院刊行の地図を取り扱っている全国の書店等でお買い求め下さい。また、通信販売を利用することもできます。通信販売のお申し込みは下記へ。

(財)日本地図センター

普及販売部

〒153-0042

東京都目黒区青葉台4-9-6

TEL 03-3485-5414

国土地理院の刊行地図に関するお問い合わせは下記へ。

建設省国土地理院企画部

情報管理課生産管理係

〒305-0811

茨城県つくば市北郷1番

TEL 0298-64-6876

数値地図の価格と購入方法

[価格:1枚(消費税込み)]

FD : 6,000円

CD-ROM : 7,500円

[購入方法]

数値地図を購入する場合は、下記へ直接お申し込み下さい。また、国土地理院の地図を取り扱っている書店でも取り次いでおります。

(財)日本地図センター

普及販売部

TEL 03-3485-5414

刊行地図面数

(平成12年12月1日現在)

1万分1地形図	286面
2万5千分1地形図	4,342面
5万分1地形図	1,291面
20万分1地勢図	130面

新刊地図案内

平成13年2月1日、3月1日刊行予定

○平成13年3月1日刊行

1万分1地形図(四六半裁判折図5色) 3面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
水戸	水戸 6-4-3・4, 10-2-1・2	11年 修正	国道349号の拡幅、万代橋の完成、茨城県庁の移転
かしわ 柏	東京 1-2-2	"	一般道の完成、柏警察署の完成、大堀川の改修
なが 長 田	和歌山 13-1-3	"	阪神高速3号神戸線の開通、JR新長田駅の移転

2万5千分1地形図(証判3色) 42面

図名	地図番号	実施年・種別	備考
日高目黒	広尾 12-3	12年 修正	さけ・ます孵化場の完成
アポイ岳	" 16-3	"	登山道の完成、幌満湖の注記表示
襟裳岬	" 12南-3・4, 16南-1	"	資料館「風の館」の完成
美河	浦河 6-2	"	登山道の完成
蘭庭	福島 9-1	"	国道399号の改良
中茂子	" 9-2	"	林道の完成
栗子	" 9-4	"	国道13号の改良
橋場	白河 7-3	"	国道289号および国道349号の拡幅
磐城片貝	" 7-4	"	国道349号の拡幅、一般道の拡幅
磐城山	" 8-4	"	林道の完成
町付	" 11-4	"	一般道の拡幅、林道の完成
徳宿	水戸 7-4	"	境界の表示(鉾田町内の旭村飛地)
鉾田	" 8-3	"	国道354号の経路変更、北浦の等深線表示
武井	" 8-4	"	ゴルフ場の完成
小鶴	" 11-1	"	工業団地の完成(茨城町)
下吉	" 11-2	"	一般道の改良
石岡	" 11-4	"	一般道の拡幅
岩瀬	" 14-4	"	一般道の完成および拡幅
多古	千葉 10-2	12年 部分修正	一般道の完成
成東	" 11-1	"	一般道の改良
貉ケ森山	新潟 12-1	12年 修正	一般道の拡幅、林道の完成
まつ戸原	日光 6-3	"	ｽｷｰ場の完成
会津小林	" 9-1	"	一般道の改良
城郭朝日山	" 9-2	"	林道の完成
御前崎	御前崎 9-3, 13-1	"	国道150号の拡幅
東茂住	高山 10-3	"	一般道の改良、林道の完成
御母衣	金沢 4-1	"	ﾄﾝﾈﾙの完成、郵便局の移転
二ノ峰	" 4-4	"	一般道の改良
御所	和歌山 6-1	12年 部分修正	境界変更(河南町・太子町)
本宮	田辺 2-3	12年 修正	一般道の改良、長井ﾄﾝﾈﾙの完成
古座	" 3-4	"	一般道の拡幅、郵便局の移転
三尾川	" 7-2	"	国道371号の拡幅、林道の完成、一般道の拡幅
延岡	延岡 5-2	"	一般道の完成・拡幅
市房山	" 15-3	"	国道388号の経路変更、一般道の完成・拡幅

(次ページに続く)

(前ページより続く)

つゑき 榎 宮 肥	き 木 原 園 かわ 内	延 八 〃 長	岡 代 〃 崎	15-4 2-1 2-3 5-3	12年 修 正 〃 〃 〃	一般道の完成・拡幅、林道の完成 国道445号の改良、一般道の完成・拡幅 一般道の完成・拡幅、トンネルの完成 松浦鉄道すえたちばな駅の新設、一般道の 完成・拡幅
さ 池 那	せ 保 島 覇	〃 〃 那	〃 〃 覇	6-1 7-4 15-2	〃 〃 12年 部分修正	一般道の完成・拡幅 海岸線の変更 那覇空港自動車道(南風原道路)の完成、 国道507号津嘉山バypassの一部完成
ふく 福	きた 北	宮 古 島	1-2,2-1	12年 修 正	〃	一般道の完成

5万分1地形図(桎判4色) 4面

図 名	地 図 番 号	実施年・種別	備 考
な 中 礼	し 標 文	つ 津 島	斜 里 3 12年 修 正 12年 要部修正
つ 鶴	お 岡	酒 田 4 16・15西・16西	12年 修 正 境界変更(余目町・立川町・羽黒町・藤島町)、 山形自動車道完成、国道47号バypassの完成
な 名	ご 屋	南 部 2	12年 要部修正

20万分1地形図(桎判6色) 2面

図 名	地 図 番 号	実施年・種別	備 考
おかやまおよびまのめ 岡山及丸亀	NI-53-27	11年 修 正	徳島自動車道の完成、西瀬戸自動車道の完成、 井原鉄道の完成、国道2号赤坂バypassの完成
ひろ 広	しま 島	NI-53-33	〃 西瀬戸自動車道の完成、カールみどり坂線の完成

50万分1地方図(四六判4色・7色) 各1面

図 名	実施年・種別	備 考
中 部 近 畿	12年 修 正	東海北陸自動車道の一部完成

数値地図50000(地図画像)CD-ROM版 5面

図 名	備 考
山口・福岡・大分、佐賀・長崎、熊本・宮崎 鹿 児 島、沖 縄	

○平成13年2月1日刊行

数値地図25000(地名・公共施設)CD-ROM版 1面

図 名	備 考
全 国	平成12年版

お知らせ

マップニュース第98号(平成12年11月25発行)に掲載した、平成13年2月1日刊行予定の2万5千分1地形図「筑波」(水戸15-4)および「海南」(和歌山16-1)は、刊行延期になりました。

訂正

マップニュース第96号(平成12年9月25発行)に掲載した、平成12年12月1日刊行の2万5千分1地形図「川北」(標津15-3)の「実施年・種別」を、11年部分修正から12年部分修正に訂正します。

表の見方

用紙の大きさ

桎判 460 × 580

菊判 636 × 939

四六判 788 × 1091

四六半裁判 520 × 738

(単位 mm)

図名

地図の名称で、その地図中に表示されている地名の中で最も著名なものを採用することが多い。山、湖沼、岬、島などの名称を採用することもある。

地図番号

地図の地球上における位置を示すもので、分類するのに便利のように系統的につけてある。2万5千分1地形図と5万分1地形図の地図番号の中の地名は、その地形図が含まれる20万分1地勢図の図名。

実施年

地図の現地調査を実施した年、若しくは編集を行った年。

種別

[修正]

修正測量の略称で、地図を定期的に全面修正する測量。

[改測]

すでに作成された2万5千分1地形図を新たに作成しなおすこと。

[部分修正]

部分修正測量の略称で、定期修正とは別に、1万分1地形図及び2万5千分1地形図の表示事項の一部に、現況との顕著な相違が生じた場合に、応急的に修正する測量。

[要部修正]

5万分1以下の縮尺の地図の部分修正。

[編集]

2万5千分1地形図とその他の資料を用いて、道路・家屋・等高線等の表示事項を取捨選択するなどして、5万分1地形図を作成すること。5万分1地形図から20万分1地勢図等を作成する場合も同様。

備考

修正事項等の中から特徴的なものを1～2選んで示した。

■ホームページで「新春スペシャル」を開催

国土地理院ホームページでは、12月27日から2月28日までの期間限定で、今回で5回目の「新春スペシャル」を開催します。

その内容は、恒例の干支や西暦年にちなんだ地名・山・池などの紹介のほか、21世紀のスタートにあたり、標高21.00mの地点、高い山と低い山ベスト21、日本の東西南北の端点（南鳥島、与那国島、沖ノ鳥島、択捉島）などを紹介し、国土の概要を理解できる構成となっています。

「新春スペシャル」の主な構成は、次のとおりです。

＜2001年のページ＞

- ・2001年（平成13年）の山、地名、クイズに挑戦
- ・新春に日本の東西南北の端点を訪ねる

＜巳（蛇）年のページ＞

- ・巳（蛇）年の山、地名、池・沼と民話

＜21世紀のページ＞

- ・21世紀（m）の地点
- ・日本の高い山・低い山ベスト21

「新春スペシャル」のURL

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/LATEST/special00-01/sinsyun.htm>

■ホームページの訪問者が200万人突破

国土地理院ホームページの訪問者が、12月12日に200万人を超えました。平成9年10月にリニューアル後、本年2月に100万人を突破、以来10ヶ月目のことでした。

今年は、インターネット人口が急増するなか、有珠山の噴火（3月）、三宅島・神津島などの火山噴火と地震活動（7月）などがあり、日々変化する地殻変動情報と関連する地理情報などの提供を行ったことから、多くの方々に利用されたものと思われます。

また、7月から試験公開した地形図閲覧サービスへの訪問者数にも驚異的なものがあり、地形図公開の影響の大きさがうかがえました。

今年の訪問者は、月平均約9万6千人となっています。

■九州地方測量部が「建設技術フェア2000」に出展

九州地方測量部は、12月5日・6日に福岡ドームで開催された「建設技術フェア2000」（主催：建設技術フェア2000実行委員会）に出展しました。

同フェアは、「未来の社会を支える人と技術」をメインテーマに、未来に向けた国造りとその中における技術の役割・意義を広く国民に理解していただくことを目的として開催されたもので、九州地方建設局、運輸省第四港湾建設局ほか、関連団体、企業など160を超える機関により、それぞれ趣向を凝らした展示、実演などが行われ、期間中の入場者数は13,075人でした。

九州地方測量部からは、伊能図から現在までの測量の歴史や測量機器の変遷、また、三次元GIS、火山GISなどの新技術を展示したほか、余色立体図によるガリバー体験やトータルステーションでの観測など子供から大人まで楽しめる体験コーナーを設けました。

■ISO/TC211国内委員会に出席

12月6日、(財)日本測量調査技術協会において、第19回ISO/TC211国内委員会が開催され、国土地理院から矢口企画部長ほか4名が出席しました。

同委員会は、国際標準化機構の地理情報に関する専門委員会（ISO/TC211）において地理情報の標準化の検討が行われているのを受けて、国内の意見とりまとめとISO/TC211への意見提出を行うことを目的とするもので、伊理正夫中央大学教授を委員長として、GIS関連の有識者などからなっています。

会議では、今年9月に米国で行われたISO/TC211第11回総会についての報告が行われたほか、現在ISO/TC211から意見を求められている委員会原案などについて議論が交わされました。また、来年3月の第12回総会でされるワークショップにおいて、地理情報標準に基づく実証実験の成果について発表する方針が了承されました。

■ガンビア共和国のJICA調査団に職員派遣

国土地理院は、12月9日から21日まで、ガンビア共和国の地理情報整備計画調査のJICA事前調査団に谷岡地図部長（団長）および林測図部調査員を派遣しました。

ガンビアは、アフリカ大陸西端の東西に流れるガンビア川の中・下流域に位置し、面積が約1万2千km²（岐阜県ほどの広さ）で、西側が大西洋に面しているほかはセネガルに囲まれている人口約120万人の国です。

同国には、1970年代に英国によって作成された5万分の1の地図がありますが、道路、河川、集落程度を表現したもので、経済開発および社会基盤整備などのための地形図を整備することが不可欠となっています。また、GISの導入を図っていますが基盤となる地図データが整備されていないため、GIS本来の活用ができない状況です。このような背景をもとに、同国政府は5万分の1地形図の全国整備とGISのための地図データ整備の協力を日本に要請していました。

事前調査では、本格調査に必要な基準点および地図に関する現状、GISの利用状況などを調査し、本件を効果的な援助とするための作業方法や技術移転方法などについて協議を行い、18日には谷岡団長と国務省国土・測量局長の間で、S/W(Scope of work)の署名・交換を行いました。

編集 国土地理院ニュースレター編集委員会

発行 建設省国土地理院企画部

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番

TEL 0298-64-1111 FAX 0298-64-1658

連絡先：企画調整課 研究調整係(テクノス)

情報管理課 生産管理係(マップニュース)

国土地理院ホームページのURL

<http://www.gsi.go.jp/>